

第2章 環境施策とその進捗状況

基本目標1

オールかつしかの連携・協働

地域の環境をより良いものにしていくためには、区民・事業者が自主的に環境づくりへの取組を実践していただく必要があり、次世代の担い手やリーダーづくりは今後ますます重要になってきます。

エコライフの普及や低炭素社会に向けた人づくり、環境学習や子どもから大人まで区民すべてが環境活動に参加できる場づくりなどを進めます。

基本施策1 パートナーシップの充実・強化による取組の推進

(1) ゼロエミッションかつしかの達成に向けた取組

ゼロエミッションかつしかを実現するための分野を次の7つの柱として体系化し、幅広い分野で横断的な取組を行っています（詳細は各対応施策を参照）。

7つの柱	主要な取組	対応施策
I.エネルギー	再生可能エネルギーの導入拡大、水素エネルギーの普及拡大	基本施策4
II.建物	ZEB・ZEHの拡大	基本施策4
III.運輸	公共交通の充実、自転車活用の推進、次世代自動車の推進	基本施策4
IV.資源	3Rの推進、食品ロス対策、プラスチック対策	基本施策7・8
V.気候変動	適応策の強化	基本施策6
VI.吸収量拡大	地域間連携に基づく森林整備	基本施策2・11
VII.新たなビジネス・ ライフスタイル・協働	脱炭素ビジネス、脱炭素経営	基本施策2・5
	脱炭素に向けたライフスタイルの推進	基本施策5
	葛飾区役所における率先行動	基本施策5

(2) 協働による花いっぱいのもちづくりの推進

◆花いっぱいのもちづくり（環境課）

区では、区内の駅前広場や幹線道路の沿道、公園の花壇などが花いっぱいの空間となるよう、「花いっぱいのもちづくり」を区の基本計画における11の重要プロジェクトの一つとして位置づけ、区民の皆さんとの協働により進めています。

① かつしか花いっぱいのもちづくり推進協議会

平成26年度に花を育てる活動団体で構成する「かつしか花いっぱいのもちづくり推進協議会」が設置され、専用のホームページの開設や「かつしか花いっぱいのもちづくりコンクール」などの事業を、協議会と、区、活動団体が協働で実施しています。

また、自主的に活動いただいている団体に対する支援や緑化材料の配布などを行っている「緑と花のもちづくり推進事業」についても一層充実し、区内にみどりと花を一層広めるような取組を展開しています。

「緑と花のもちづくり推進事業」については、P92に掲載

② 花いっぱいのもちづくりホームページ

区内の花いっぱいのもちづくり活動を紹介する専用のホームページを設け、活動している団体からの情報発信や、一般区民が花に関連した意見を交換できる仕組みを平成27年4月1日から運用開始しました。

③ 花いっぱいレポーター

ボランティアとして、区民の花いっぱい活動取材し記事としてまとめホームページに投稿する花いっぱいレポーター制度を平成26年11月に創設し、令和6年3月現在、7名に委嘱しています。花いっぱいレポーターは、主に、ホームページへ自ら投稿することが出来ない活動団体の活動取材し、活動団体の代わりにホームページへ活動状況などを投稿しています。取材方法の研修を経て、現在区内各地で取材活動を行い、ホームページへの投稿を行っています。

④ 緑花生活の推進

令和5年度には、緑化推進協力員が地域の指導者としてのスキル向上を図るため、また、花壇活動団体が適切な花壇管理の手法を学ぶため、「花壇管理講習会」を行いました。講習会のなかでは、受講者が考えたデザインをもとに、実際に渋江公園内の

花壇を植栽しました。

また、緑化推進協力員による花に関連した講習会について、令和3年度は4回、令和4年度は4回、令和5年度は5回実施しました。

そして、花いっぱいのもちづくりの気運を高めるため、花苗などを配布しています。

◆緑化推進功労者表彰（環境課）

地域で様々な緑化推進活動を実践し、その功績が顕著で他の者の模範となる個人または団体に対し、その功績をたたえるために感謝状を贈呈します。

また、区民農園への土地提供者に対して、貴重な土地を区民が土と緑に親しむために無償提供し、緑化の普及啓発に貢献されたとして、農園新規開設の翌年度に感謝状を贈呈しています。平成28年度からは、緑化推進協力員会の会長の職に10年以上在職した者のうち、当該職を辞したのものについても、感謝状を贈呈しています。

令和5年度までの表彰者の累計は310人と49団体です。

◆花と緑のはがきコンクール（環境課）

緑の大切さを考えるきっかけづくりとして、身近な花や緑を題材としてはがきに表現した作品を対象としたコンクールを行い、優秀作品を表彰しています。緑化推進協力員会との共催で、葛飾郵便局、葛飾新宿郵便局の後援で実施しています。絵画の部と押花の部の2部門のほか平成26年度から写真の部を創設し、合わせて3部門となりました。対象は区内在住、在勤または在学者です。募集期間は毎年7月1日～9月30日です。

作品の創作や作品を広く区民に周知することにより、緑に対する関心を高め、自然の大切さを考える機会とすることを目的としています。入賞作品および佳作は、区役所区民ホール、区内地区センター、かつしかエコライフプラザ、葛飾・新宿の各郵便局で巡回展示を行います。



◆かつしか花いっぱいの花壇コンクール（環境課）

令和5年度春に、かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会との共催で第7回花壇コンクールを開催しました。これは、花いっぱいのまちづくりのPRを図るとともに、活動参加者の花の知識の向上や花を育てる意欲を喚起し、活動の活性化を図るためのものです。

16の花壇が応募し、かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会役員による審査の結果、葛飾区長賞1花壇、かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会会長賞1花壇、優秀賞5花壇・特別賞1花壇が決定しました。

また、今回の花壇コンクールから応募要領が改定され、「葛飾区長賞」及び「かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会会長賞」を合わせて5回受賞した場合、「殿堂入り花壇」と認定することとなりました。

なお、令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により花壇コンクールの開催を中止しました。

（3）ネットワーク化による活動のさらなる発展

◆河川浄化運動（綾瀬川クリーンキャンペーンなど）（環境課）

区内河川の浄化や親水、持続可能な利用のための課題や取組について検討しています。河川ごとに、江戸川を守る会、綾瀬川水環境連絡会を流域住民・環境団体・自治体と組織して活動しています。

○綾瀬川クリーンキャンペーン

区民への水質改善啓発イベントとして「かつしか環境・緑化フェア」の中でブースを設けて実施しており、高度経済成長により汚れた川になってから現在までの取組や、水質の変化をパネルで紹介しています。

綾瀬川クリーンキャンペーン



◆河川愛護活動（荒川クリーンエイド）（調整課）

荒川クリーンエイドは、自然豊かできれいな荒川を取り戻すため、自治体、企業、学校、市民団体など様々な団体が「実施団体」として参加者を募り、河川敷などのごみを

種類別に数えながら清掃を行う活動です。環境保全意識の向上も同時に図る活動で、近年では、年間約 150 会場、約 1 万 3 千人規模で実施されています。

(出典：荒川クリーンエイド・フォーラム HP)

区は、春と秋の年 2 回、荒川クリーンエイドに参加し、沿川の中学校などと協働して清掃活動を行っています。また、民間事業者も荒川クリーンエイド事業に主体的に取り組むなど、1 年をつうじて清掃活動を行っています。

○春の荒川クリーンエイド（堀切橋上流付近）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
参加人数（人）	コロナのため	コロナのため	コロナのため	未実施
ごみ袋回収数（袋）	中止	中止	中止	

○秋の荒川クリーンエイド（四ツ木橋下流付近）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
参加人数（人）	コロナのため	コロナのため	74	122
ごみ袋回収数（袋）	中止	中止	34	22

◆環境保全団体支援（環境課）

環境保全団体の自主的な環境保全活動を活性化し、地域環境、地球環境の保全を進めるため、環境保全団体を実施する環境保全に関する調査・研究活動、成果発表および一般区民を対象とした環境保全に関する啓発事業にかかる経費を助成しています。区内を中心に 1 年以上活動している団体に、経費の 2 分の 1 以内で、1 団体につき 10 万円を限度として、予算の範囲内で助成しています。

環境保全団体への補助（累計）：62 団体（令和 6 年 3 月 31 日現在）

◆葛飾区地球温暖化対策地域協議会（環境課）

地球温暖化対策の推進に関する法律第 40 条に基づき、平成 20 年 12 月 11 日に、区民・事業者・区で連携・協働して温暖化防止に取り組むための「葛飾区地球温暖化対策地域協議会」を設立しました。

温暖化対策の基盤となるパートナーシップ型の組織として、「葛飾区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の推進にあたって、地域で温暖化防止に向けた普及・啓発の取組を進めています。

〈令和5年度 活動事例〉

例年、8月頃に「かつしかエコフェスティバル in アリオ亀有」を開催しています。日頃、省エネや節電などエコな取組にあまり関心をお持ちでない方にもエコライフに関心を持っていただけるように、協議会の活動内容を紹介するパネル展示のほか、新聞紙でエコバッグ作りなどの子ども向けエコ工作講座、クイズラリーなどを実施しています。その他、夏休み子ども環境学習講座を開催し、参加者に楽しみながら省エネ意識を高めてもらいました。

◆葛飾区生物多様性推進協議会（環境課）

「葛飾区環境基本計画（第2次）」および平成24年11月に策定した「生物多様性かつしか戦略」に基づき、区民・事業者・区の協働と参画による「かつしか『エコの“わ”』形成プロジェクト」を推進するため、自然環境分野の横断組織である「葛飾区生物多様性推進協議会」を平成25年3月に設置しました。引き続き、新たに策定した「第2次生物多様性かつしか戦略」においても、推進していきます。

この協議会は、区民、地域団体、事業者および区が対等の立場に立ち、「協働のパートナー」として活動していくものであり、地域における生物多様性に関する活動や取組を広げるとともに、自主的に先導できる担い手の育成を図ります。

協議会では、「かつしか生きものトランプ部会」、「小さな水田普及啓発部会」、「かつしか生きもの調査部会」の3つの部会を設置し、生きものトランプを使った出前授業や、小学校や窓口、緑化フェアでの種もみ、パンフレットの配布等「小さな水田」の普及啓発、区民参加型の生きもの調査や自然観察会など、それぞれ活発に活動しています。

また、区は令和4年3月に策定した「第2次生物多様性かつしか戦略」の実行計画を令和5年6月に策定しました。協議会は、本実行計画の推進及び進捗管理を担当しており、区内の産業団体や大学、NPO等をはじめとするとの交流ネットワークづくりに取り組み、実行計画を「オールかつしか」で推進していきます。

部会活動の成果については、P87～88に掲載



生物多様性推進協議会の実施風景

◆葛飾区緑化推進協力員（環境課）

葛飾区緑化推進協力員は、昭和51年に「葛飾区緑の保護と育成に関する条例」に基づき委嘱された、区の緑化関連事業や、区内の緑を増やす活動に積極的に関わる民間協力者で、個人や所属団体などを通じての活動のほかに、区内4ブロックに分かれ、組織的な活動を行っています。

【主な活動内容】

緑化普及活動（園芸教室、緑のカーテン講習会、かつしか環境・緑化フェア、樹木フェアなど）により、区が行う緑化事業に協力しています。

また、街の緑化運動など（花壇作りなど）により、自ら緑化を進めるとともに、緑に関する知識の普及・啓発に努め、区民の緑化意識の高揚を図ります。

その他、保育園、小・中学校や高校で行う授業や、緑化活動への支援を行っています。

また、花壇活動では、区役所「緑と花のいこいガーデン」や区立公園地域開放型の花壇、「緑と花のまちづくり推進事業」などを活用し、20箇所以上で地域の方と活動しています。

「緑と花のまちづくり推進事業」は P92 に掲載



「細田グリーンバンク」花壇での
園児との球根植え付け



区役所「緑と花のいこいガーデン」
花壇の植え替え



園芸教室

◆かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会（リサイクル清掃課）

平成 15 年度に、区民・事業者・区の三者が協働してごみの減量・リサイクルの推進に取り組むために「かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会」が設置され、それぞれの役割を踏まえた活動を展開しています。さらに目的別部会として「区民啓発活動部会」「事業者活動部会」を設置し、それぞれの活動の詳細について検討しています。

〈ごみ減量月間の取組〉

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、毎年10月を「ごみ減量月間」と定め、「ごみ減量月間アンケート」などを実施しています。

① ごみ減量月間アンケート

ごみ減量月間アンケート会場などでごみの発生抑制の呼びかけを行っています。アンケート会場及び電子申請でごみの減量に関するアンケートの実施にご協力いただいた方に啓発品の配布を行い、日常生活でのごみの減量につながる行動を呼びかけています。

○ごみ減量月間アンケート来場実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来場者数	2,517	1,068	623	550	1,262

② 産業フェア

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、毎年産業フェアへ参加し、クイズを通じてごみの減量やリサイクルの推進を呼びかけています。

○産業フェア参加・来場実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来場者数	2,668	中止	442	1,812	1,495

〈ごみ減量の日〉の取組

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、平成 18 年 11 月から毎月5日を「ごみ減量の日」として、区民、小売店、事業所それぞれの取組内容を示し、自治町会の掲示

板への掲示やチラシ、かつしか FM などを利用して効果的な PR を行い、ごみの減量に対する活動が全区的に広がるよう取り組んでいます。



〈かつしかルールの推進〉

かつしかルールの推進については P60 に掲載

〈三者が連携したごみ減量の呼びかけ〉

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、区民・事業者・区がそれぞれ連携しながら、ごみの減量への意識啓発・行動促進を図っています。

【区民に対して】

- 葛飾区自治町会連合会を通じた掲示板への掲示による呼びかけ
- 広報かつしかやかつしか FM での PR

【事業所・小売店に対して】

- 東京商工会議所葛飾支部や葛飾区商店街連合会を通じた、啓発チラシの配布

〈区民、事業者の自主的活動によるごみ減量の取組〉

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会のごみ減量の趣旨に基づき、加盟団体は次のような自主的活動を行っています。

○区民、事業者の自主的活動によるごみ減量の取組

団体名	取組内容
葛飾区自治町会連合会 葛飾清掃協力会 葛飾東清掃協力会	水きりの徹底による生ごみの減量
葛飾区消費者団体連合会	古紙の再利用促進、マイバッグの利用促進
集団回収団体	自主的な資源回収行動のさらなる推進
葛飾区商店街連合会	常任理事会などでマイバッグ利用の声掛け等の働きかけ
東京商工会議所葛飾支部 葛飾区工場団体連合会 東京都電機商業組合葛飾支部 かつしか異業種交流会	従業員がごみの減量、資源化に取り組めるような環境作り等をチラシ配付による働きかけ
葛飾エフエム放送株式会社 株式会社ジェイコム千葉東葛・葛飾局	放送や情報誌への掲載による働きかけ

基本施策2 葛飾の特性を活かした地域資源の好循環

(1) 地域資源の持続可能な活用による経済・社会・環境の統合的向上

◆廃食用油再生利用促進事業（環境課）

家庭で使用済みの食用油を、バイオディーゼル燃料*（環境にやさしい生物由来の燃料）として再生利用する、廃食用油再生利用促進事業を行っています。

区施設などに回収ボックスを設置し、回収しています。

○回収場所

回収ボックス設置場所
柴又地区センター、鎌倉図書館、葛飾区役所、南綾瀬地区センター新小岩北地区センター、立石地区センター、東立石地区センター、東四つ木地区センター、四つ木地区センター、堀切地区センター、お花茶屋地区センター、亀有学び交流館、青戸地区センター、新小岩地区センター、奥戸地区センター、高砂地区センター、新宿地区センター、金町地区センター、東金町地区センター、水元地区センター、西水元地区センター

◆緑のリサイクル事業（公園課）

自然資源となりうる剪定した枝葉を、焼却や埋め立て処分せずに、チップ化または堆肥化して利用し、自然に還すことにより、ごみ処分場の負荷の軽減化と環境負荷を低減していきます。

○これまでの実績

指 標	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
剪定枝葉搬入量 (m ³)	1,725	1,435	1,458
活用施設数(公園・児童遊園・区立保育園・区立小中学校など) (件)	24	31	19

※緑のリサイクルセンターは、これまで稼働していた事業用地を道路管理者に返却することになったため、令和元年度に破砕施設の撤去を行い、チップ化作業を停止していました。

この度事業用地が確保できたことから、令和7年度中の稼働に向けて整備を進めています。

(2) サステナブル・リカバリーによる区内産業の活性化

◆葛飾区 SDGs 宣言（産業経済課・商工振興課・観光課）

区内事業者・団体等に対しSDGs宣言を促し、広く発信することで、PRにつなげるとともに、SDGsに関する活動を促進しています。

区内事業者・団体等が取り組んでいるSDGsに関する事例を記載したSDGs宣言書を募集し、区HPや広報紙、SNS等で周知しています。

また、応募事業者等へ宣言証を発行し、取組状況や今後の目標、区への要望等のアンケート調査を行います。

年度	令和4年度	令和5年度
宣言数	93件	43件

◆エコアクション21及びグリーン経営認証の認証取得費助成金（環境課）

エコアクション21及びグリーン経営認証の認証取得費助成金についてはP46に掲載

(3) 地域外との連携による取組

◆新潟県五泉市・秋田県鹿角市との森林整備（環境課）

令和5年2月、「森林整備の実施に関する協定」を各市と締結し、令和5年度より協働して、各市が所有する森林の適切な整備を行っています。森林の保全や地球温暖化対策に寄与するとともに、これまでの交流により培ったパートナーシップの強化につなげます。

○森林整備面積

自治体	令和5年度
新潟県五泉市	2.9ha
秋田県鹿角市	11.0ha

◆多摩の森活性化プロジェクト推進協議会（環境課）

令和5年7月、都内11市区町村および東京都と「森林環境贈与税の活用に係る都内連携に関する協定」を締結し、「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」を発足しました。

都内の参加自治体と連携して、多摩地区の森林整備を進めていきます。

基本施策3 次世代の環境人材の育成

(1) 環境学習の推進

◆区民エコライフ学習講座（環境課）

温暖化対策を身近で感じ、楽しく学べる環境学習教室を行い、区民の省エネ行動の推進につなげていきます。

○開催講座と参加人数

年度	講座	参加人数・開催回数
令和2年度	廃食用油を使ったエコキャンドル講座	小学生 10人×1回
	打ち水講座（竹の水鉄砲作り）	小学生 10人×2回
	間伐材を使った箸づくり講座	小学生 10人×1回
	雨水環境学習講座（たねダンゴづくり）	小学生親子10組×1回
令和3年度	廃食用油を使ったエコキャンドル講座	小学生 10人×1回
	打ち水講座（竹の水鉄砲作り）	小学生 10人×2回
	間伐材を使った箸づくり講座	小学生 10人×1回
	間伐材を使ったマイうちわづくり講座	小学生 10人×1回
	雨水環境学習講座（ベランダガーデニング）	小学生 10人×1回
	雨水環境学習講座（温度計づくり）	小学生親子10組×1回
	雨水環境学習講座（気圧計づくり）	小学生親子10組×1回
令和4年度	廃食用油を使ったエコキャンドル講座	小学生 20人×1回
	打ち水講座（竹の水鉄砲作り）	小学生 10人×2回
	間伐材を使った箸づくり講座	小学生 20人×1回
	間伐材を使ったマイうちわづくり講座	小学生 20人×1回
	雨水環境学習講座（ベランダガーデニング）	小学生 20人×1回
	雨水環境学習講座（たねダンゴづくり）	小学生 20人×1回
	雨水環境学習講座（温度計づくり）	小学生親子 15組×1回
令和5年度	廃食用油を使ったエコキャンドル講座	小学生 15人×2回
	打ち水講座（竹の水鉄砲作り）	小学生 10人×2回
	間伐材を使った箸づくり講座	小学生 20人×1回
	間伐材を使ったマイうちわづくり講座	小学生 20人×1回
	雨水環境学習講座（たねダンゴづくり）	小学生 20人×1回
	雨水環境学習講座（温度計づくり）	小学生親子 15組×1回

◆親子体験教室「オリジナル手づくり乾電池教室」（消費生活センター）

親子で資源問題への関心と理解を深めるための教室です。電池キットにて乾電池を作ることにより、電池の基本構成を学んでいきます。（令和5年度よりLED電気でランプシェード作りから変更）（年1回実施）

○これまでの開催実績

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加人数	6組12人	11組24人	7組15人	8組18人	7組19人	5組12人

◆環境学習事業（環境課）

①出前教室

小中学校において地球温暖化問題などについて学ぶ「出前教室」を実施し、子どもたちの環境学習を推進しています。

年度	実施回数
平成30年度	2回実施
令和元年度	1回実施
令和3年度	1回実施
令和4年度	2回実施
令和5年度	1回実施



令和3年度上千葉小学校の様子

②再生可能エネルギーの環境学習事業

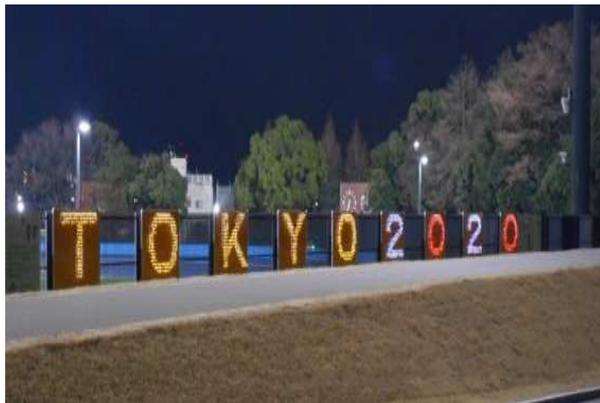
地球にやさしいエネルギーの普及拡大に向け、区内小学校において「太陽光発電パネル付きLED」を使った再生可能エネルギーに関する環境学習を推進しています。

「太陽光発電パネル付きLED」とは、ペットボトル型のプラスチック製容器に「太陽光発電パネル」、「蓄電池」、「LED電球」が組み込まれた発光装置のことで、日中に太陽光発電パネルで発電された電気を蓄電池にためて、暗くなるとためた電気によって自動的にLED電球を点灯させます。

平成30年度は、東京2020参画プログラムとして奥戸小学校、南奥戸小学校、細田小学校の3校の児童が環境学習の中で作製した「太陽光発電パネル付LED」で「TOKYO 2020」を模したイルミネーションを制作し環境教育と連動した大会への気運醸成を図りました。

令和元年度からは、区内小学校において再生可能エネルギーの環境学習教室を実施し、環境学習の中で作製した「太陽光発電パネル付 LED」を学校の花壇等に設置しています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施校	22校	26校	33校



葛飾区総合スポーツセンター陸上競技場（フェンス）
※現在は撤去済



「太陽光発電パネル付 LED」製作の様子

そのほか、区では省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利用促進を図るため、学校などに太陽光発電システムの設置を進めています。太陽光発電システムを設置した学校などにおいては、子どもたちや保護者、地域の方々に再生可能エネルギーの利用促進を広くPRし、環境学習に役立てています。



亀有中学校に設置した
太陽光発電システム

◆環境学習用教材「エコかつ」（環境課）

温暖化問題、ごみ問題、自然環境、公害問題など、さまざまな側面を有する環境問題について、子どもたちが総合的に学び、環境行動を実践できることを目的とし、環境への理解を深めるものとして環境学習用教材「エコかつ」を作成し、区立小・中学校にデータで配布しています。

環境学習用教材を活用することにより、様々な環境問題と身近な生活との関わりを自発的に家庭で学べるとともに、学校の授業の中でも理科・社会など各教科とのつながりをわかりやすく伝えていきます。

環境学習用教材は、区と教育委員会および小・中学校の先生方により編集委員会を組織し、毎年見直しを行っています。



環境学習用教材「エコかつ」

◆親子自然観察会（環境課）

身近な自然の中での観察会に親子で参加することで、環境問題や生物多様性について、家庭内で一緒に考えるきっかけとしてもらうために実施しています。

○令和4年度実施

日程	内容	場所	参加者
7月29日	セミの羽化を見よう	青戸平和公園	25人

○令和5年度実施

日程	内容	場所	参加者
7月26日	セミの羽化を見よう	青戸平和公園	23人



セミの羽化の様子

◆鳴く虫の女王「カンタン」と秋に鳴く虫を聴く会（環境課）

昆虫を観察し、その生態系を知ることにより、生きものの生活の場である自然を守ることの大切さを意識してもらいます。

カンタンの美しい鳴き声を知ってもらい、昆虫の保護と生物多様性の大切さを呼びかけます。

（内容）

毎年8月下旬から10月上旬にかけて、コオロギの仲間である「カンタン」を保護している「カンタンの里」にて、昆虫や葛飾区の生物多様性に詳しい講師に解説してもらいながら、カンタンなどの草むらにいる虫たちの声を聴く「鳴く虫の女王『カンタン』と秋に鳴く虫を聴く会」を実施しています。

○令和4年度開催実績

実施日	実施場所	講師	参加人数
9月7日	西亀有せせらぎ公園	佐久間浩氏	17
9月16日	北沼公園	野間隆太郎氏	45
9月22日	青戸平和公園	佐々木洋氏	46
合計			108

○令和5年度開催実績

実施日	実施場所	講師	参加人数
9月6日	西亀有せせらぎ公園	中島幸一氏	27
9月15日	青戸平和公園	佐々木洋氏	35
合計			62



青戸平和公園での様子

◆かつしかっ子探検隊（環境課）

子どもたちが、身近な生活や遊び体験を通して環境問題に関心を持ち、より良い地域環境や地球環境を創造する意識を育むことを目的に実施しています。

身近な区内の公園、河川敷などの自然や、区外に飛び出して、自然の中で遊びながら学習します。

○これまでの開催実績

年度	実施日	内 容	講 師	参加 団体	参加人数		
					隊員	サポ	計
R4	7月23日	水生生きもの観察 江戸川ワンド、本流	君塚芳輝氏 一澤成典氏	3	14	9	23
	8月4日～ 8月5日	新潟県五泉市での自然観察会	田口裕明氏	4	19	5	24
	10月1日	自然観察会	佐々木洋氏 海老名翔氏	5	25	16	41
	12月11日	天文観察	小峰園子氏	6	45	25	70
	3月11日	自然観察会	野間隆太郎氏	4	14	16	30
R5	10月1日	水生生きもの観察 水元かわせみの里、小合溜	君塚芳輝氏 一澤成典氏	3	10	3	13
	8月1日～ 8月2日	新潟県五泉市での自然観察会	田口裕明氏	5	20	5	25
	10月22日	天文観察	小峰園子氏	6	50	6	56
	1月8日	自然観察会	佐々木洋氏 木村諭氏 山本正臣氏	6	23	6	29
	3月16日	自然観察会	市原みずよ氏 中島幸一氏 草野寛子氏	2	9	2	11

◆自然環境レポーター（環境課）

中学生以上の区内在住、又は在勤者を対象に、身近な自然や環境の変化などの情報の提供や交換を行い、地域と地球の環境を保全する意識を高めるとともに、区内に生息する身近な動植物の観察やくらしの中での環境配慮活動などを、毎月記録し、区へ報告していただいています。

なお、区内に生息する身近な動植物の観察記録については、「生物多様性かつしか戦略」に基づき、今までの50種の指標種を、平成25年9月から新たに「55種」に見直しました。

○自然環境レポーター数

年度	登録者数（人）
令和3年度	35
令和4年度	38
令和5年度	38

レポーター通信

「水辺のふるさとかつしか」季刊発行



◆自然環境学習出前講座（環境課）

自然環境の保全と生活排水に配慮する意識を子どもたちに育むため、河川の水質調査体験や、身近な環境に棲む生きものから生物多様性を考える「生きものトランプ出前講座」を実施しています。また、平成28年10月に連携協定を締結した新潟県五泉市との環境交流事業として、卵の飼育をつうじてサケの育つ環境や生態を学ぶ出前講座を小学校向けに実施しました。

○河川水質調査体験出前講座実績（環境保護団体「葛飾の川をきれいにする会」との共催）

年度	実施場所	参加人数
R4	南綾瀬小学校	21
	金町小学校	59
	宝木塚小学校	71
	合計	151
R5	南綾瀬小学校	39
	金町小学校	59
	ひかり学童保育クラブ	80
	宝木塚小学校	59
	柴又小学校	46
	合計	283



河川水質調査体験出前講座の様子

○生きものトランプ出前講座実績

年度	実施場所など	参加人数
R4	小学校延べ7校	569
	その他イベントなど	69
	合計	638
R5	小学校延べ4校	282
	その他イベントなど	54
	合計	336



生きものトランプ出前講座の様子

○サケの卵出前講座実績（環境保護団体「蟲の声研究会」「葛飾の川をきれいにする会」との共催）

年度	実施場所	参加人数
R4	小学校延べ9校	480
	合計	480
R5	小学校延べ9校	493
	合計	493



サケの卵出前講座の様子

◆環境経営セミナー（環境課）

区内の中小企業者に環境に配慮した経営を一層推進していただくために、省エネ・節電の具体的な取組方法についての紹介や、区の助成金制度の周知等を行っています。

※令和4年度はエコライフプラザにて実施



◆騒音対策アドバイザー制度（環境課）

工場などから発生する騒音・振動・悪臭の防止を図るため、工場などの公害防止管理者、公害防止担当者を対象として、環境をテーマとした「公害防止講習会」を実施してまいりましたが、工場などへの公害苦情を、より実践的に解決する方法として、「公害防止講習

会」を廃止し、平成 30 年度から「葛飾区騒音対策アドバイザー制度」を創設しました。

これは、騒音公害に関する有識者に葛飾区騒音対策アドバイザーとして登録していただき、葛飾区内で操業する工場等の騒音対策へ向けた取組を支援するものです。

① 派遣対象

東京都条例「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に規定された葛飾区内の工場、指定作業場。「騒音規制法」に規定された特定施設を有する施設など

② 派遣内容

- ・作業等の実態、騒音の発生状況に応じて、葛飾区騒音対策アドバイザーが、技術的観点から騒音規制対策に対するアドバイスを行います。
- ・工場等の従業者の方々を対象として、葛飾区騒音対策アドバイザーが、騒音対策などをテーマとした学習会、説明会の講師を行います。

③ 派遣実績

創設初年度（平成 30 年度）の派遣実績は 5 件、令和元年度は 2 件、令和 2 年度は 0 件、令和 3 年度は 1 件、令和 4 年度、令和 5 年度は 0 件でした。

◆夏休みリサイクル教室（消費生活センター）

家庭で処分している牛乳パックを使って、講師の指導のもと親子で楽しみながらオリジナルの小物入れを作ります。資源の再利用を親子で学びます。（年 1 回実施）

○これまでの開催実績

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加人数	13 組 29 人	6 組 13 人	8 組 19 人	7 組 16 人	7 組 14 人

◆環境学習事業（リサイクル清掃課）

ごみ減量や 3R 推進の必要性・重要性を啓発し、区民一人一人の「資源循環型社会」実現に向けた行動に結びつけることを目的としています。

子どもの頃からの意識づけのため、園児および小学生を中心に出席授業を実施しています。

園児向けには、分別ゲームと、小学生向けには 3R や生ごみ減量に関する学習などを行い、清掃車の積み込み体験もあわせて実施しています。大人向けには、DVD 上映やパワーポイントなど、ニーズに応じて実施しています。

その他、清掃・リサイクル関連施設の見学会を年1回実施しています。

※令和2年度・3年度の、清掃・リサイクル関連施設の見学会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止。

<出前講座実施回数>

対象別 内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
保育園	60	2,623	32	1,306	44	1,606	57	2,073	67	2,255
幼稚園	6	272	2	125	4	255	5	343	7	442
小学校	12	736	3	183	16	1,106	15	1,032	18	1,336
中学校	0	0	0	0	0	0	1	120	0	0
大人向け	20	1,056	2	49	14	525	23	900	21	840
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	98	4,687	39	1,663	78	3,492	101	4,468	113	4,873



◆3R推進パートナーの育成（リサイクル清掃課）

ごみ減量やリサイクルの推進、分別の徹底などに関する啓発事業を区民と協働して行っていくため、平成23年度から平成26年度にかけて、「3R推進パートナー養成講座」を実施し、講座を受講した方々を「3R推進パートナー」として認定しました。現在は、区民向けのイベントや講座などでスタッフとして、活躍されています。

①「かつしか3Rサポーターの会」の設立と講座の委託

区は、「3R推進パートナー」21名のうち15名で、平成27年度に設立した任意団体「かつしか3Rサポーターの会」に、自主的な講座の企画・運営を委託しています。令和5年度は、かつしかエコライフプラザで実施する講座など35講座を委託しました。



ごみ減量・清掃フェアかつしかの様子

◆かつしかエコライフプラザの活用（リサイクル清掃課）

区民や事業者がより主体的・積極的にエコライフやごみ減量・3Rへの取組ができるよう、かつしかエコライフプラザにおいて、環境学習や講座、講演会、おもちゃのかえっこバザール・子ども服交換会などを実施しています。各講座などの内容および応募方法は広報かつしか、区ホームページに掲載しています。

〈講座〉

ハギレ等を利用したリサイクル手芸や木工工作等の教室、さき織り体験など、ご家庭で使わなくなったものを新しいものに作り変え、ごみ減量を推進する講座を多数開催しています。また、夏休みには子ども向けの講座も開催しています。

○令和5年度の講座実績

令和5年度 講座実績	開催回数	参加人数
	46	972

〈かえっこバザール・子ども服交換会〉

子育て世代で不要になったものをリユース（再使用）する目的として、おもちゃのか

えっこバザールと子ども服交換会を開催しています。

○令和5年度のかえっこバザール・子ども服交換会開催実績（かえっこバザールは中止）

令和5年度	回数	参加人数
かえっこバザール・子ども服交換会開催実績	2回	105人

〈その他のイベント〉

実施日	イベント名	イベント内容
6月25日	かつしかEco エコフェスタ2023	リユース家具の無料提供、各種エコ講座、 子ども服交換会など



◆清掃事業研修会の実施（清掃事務所）

ごみの発生を抑制し、リサイクルを推進することにより、埋立処分場の延命化を図り、環境への負荷が少ない地域社会を構築していくため、区民を対象に関連施設などの見学会を実施し、ごみの処理と生活との結びつきを通じて、清掃事業の理解を深めることを目的として実施しています。

埋立処分場や食品トレイのリサイクルを実施している工場などを見学し、説明を受け、具体的なリサイクルの仕組みや家庭から排出されたごみの処理過程を学習することで区民に普及啓発を行い、ごみ減量・リサイクルの推進を図ります。

○清掃事業研修会参加者数

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
147	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により中止	90 (新型コロナウイルス対策でバス定員の半分)	121

(2) イベントの推進による普及啓発

◆かつしか環境・緑化フェア（環境課）

かつしか環境・緑化フェアは、毎年6月の環境月間にあわせて、広く区民の方々に地球温暖化対策や自然環境、生活環境やごみの減量などについて、現状と区の実践を紹介するとともに、区民の環境保全や地球温暖化防止に関する意識の高揚を図り、一人一人が環境に配慮した行動を実践する契機として開催しています。

環境問題をテーマに活動している区内の環境保全活動団体や、環境に配慮した事業活動に取り組んでいる企業、公共機関などの参加協力を得て、それぞれの活動や取組についての紹介や、参加・体験型のイベントなど、内容を工夫し行っています。

また、かつしか環境・緑化フェアで展示したパネルの一部を、環境月間に区役所区民ホールやエコライフプラザ、地区センターなどを巡回して展示し、エコライフの普及啓発に努めています。



○かつしか環境・緑化フェア実績

①入場者数（人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
テクノプラザかつしか	3,500	4,700	中止	中止	3,600	4,500

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止。

②参加団体

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
区民団体	9	12	-	-	15	17
事業者	16	16	-	-	13	12
協力団体・その他	13	10	-	-	4	8
合計	38	38	-	-	32	37

区民団体：区内の環境保全活動団体

事業者：環境経営を実践している企業や環境配慮製品を製造・販売している企業、公共機関

協力団体・その他：協議会、学校、緑化推進協力員、福祉団体（飲食物等販売を平成27年度より実施）等

◆ごみ減量・清掃フェアかつしか（リサイクル清掃課）

葛飾清掃工場を会場として、区民のごみ減量・リサイクルの意識啓発と具体的行動への促進および清掃事業全般への理解を図るとともに、地域住民の葛飾清掃工場への理解と協力を求めることを目的として、葛飾区と東京二十三区清掃一部事務組合葛飾清掃工場との共催事業として実施しています。

ごみの減量や清掃の仕事に関する紹介、一般公募・地元町会によるフリーマーケット、工場見学などを行っています。



◆りー（Ree）ちゃんの活用（リサイクル清掃課）

資源循環型社会を構築するための PR として文字情報中心では限界があるため、親しみやすいキャラクターを作成し、ごみ減量推進のシンボルとして様々なイベントでの PR 活動や刊行物への掲載などにより意識啓発を図っています。

〇りー（Ree）ちゃん参加イベント等実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績回数	51	2	8	23	27

令和元年度	環境・緑化フェア、ごみ減量キャンペーン、フードフェスタなど
令和2年度	ボトル to ボトル調印式、広報写真撮影
令和3年度	キャプテン翼 CUP かつしか、フラワーメリーゴーランド PR など
令和4年度	環境・緑化フェア、フードフェスタ、庁舎見学など
令和5年度	環境・緑化フェア、清掃フェア、庁舎見学、ごみ減量キャンペーンなど

〈りー（Ree）ちゃん掲載印刷物〉

環境学習用絵本・教材、各種啓発チラシ・パンフレット など

〈その他の活動〉

環境学習用スケルトン清掃車「りー（Ree）ちゃん

GO」の活用、普及啓発用DVD・啓発品、エコライフプラザ掲示物 など



（3）次世代の環境人材への支援

◆かつしか環境・緑化フェアにおける学生の活動（環境課）

かつしか環境・緑化フェアにおいて、葛飾区にキャンパスがある東京理科大学にて環境活動を行う学生と連携して、環境に関するクイズ等を行う環境教室を実施しました。